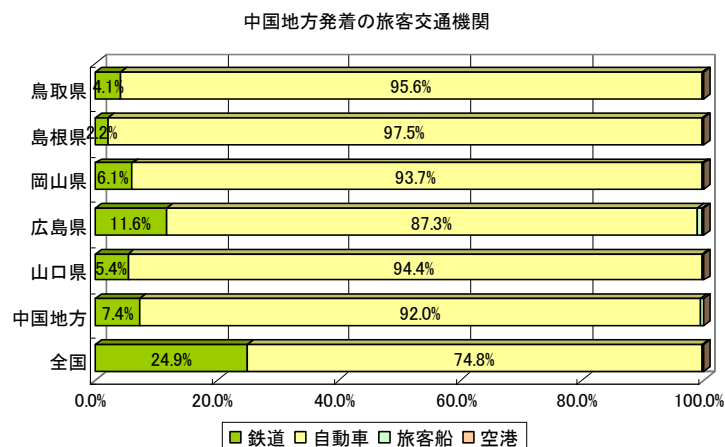


<地域間の交流・連携>

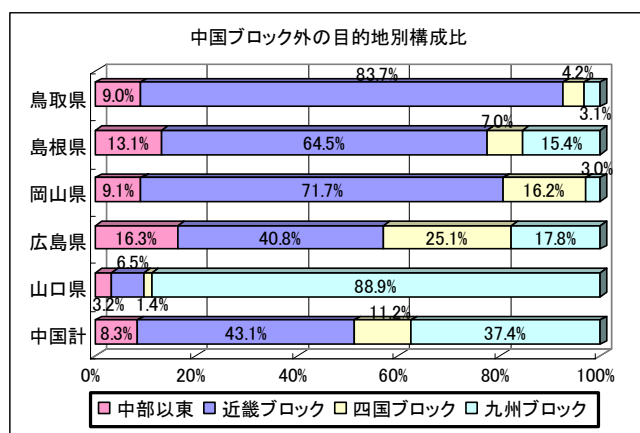
山陰地方に代表される交通基盤をはじめとする社会資本の低い整備状況、国際競争の激化等の状況を踏まえ、山陰と山陽の格差是正、地域間の交流・連携の活性化及び国際交流拠点の機能強化を進める必要がある。

地域間をつなぐ高速道路ネットワークの整備が遅れている。

中国地方に発着する旅客の交通機関は、全国と比較して自動車の依存度が高く、さらに現在の自動車の流動図を見ると、山陰―山陰間、山陽―山陽間と、隣県間での自動車の流動が多い。

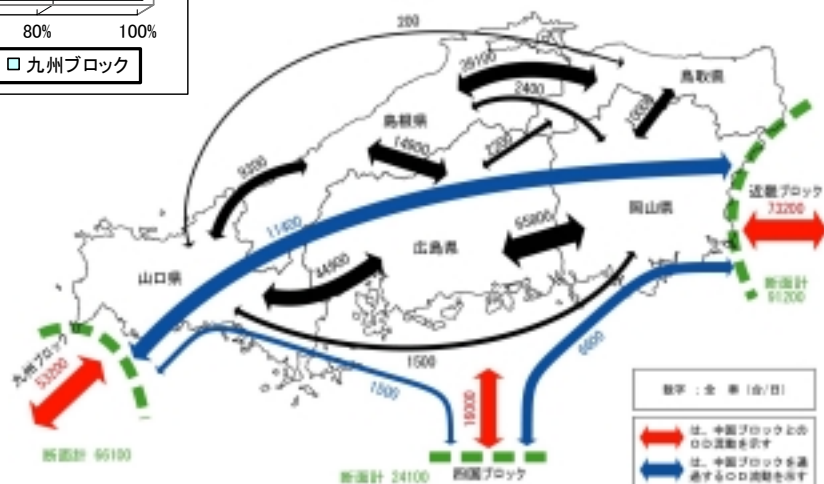


(資料:「平成13年度旅客地域流動調査」, 国土交通省総合政策局情報管理部, H15.3)



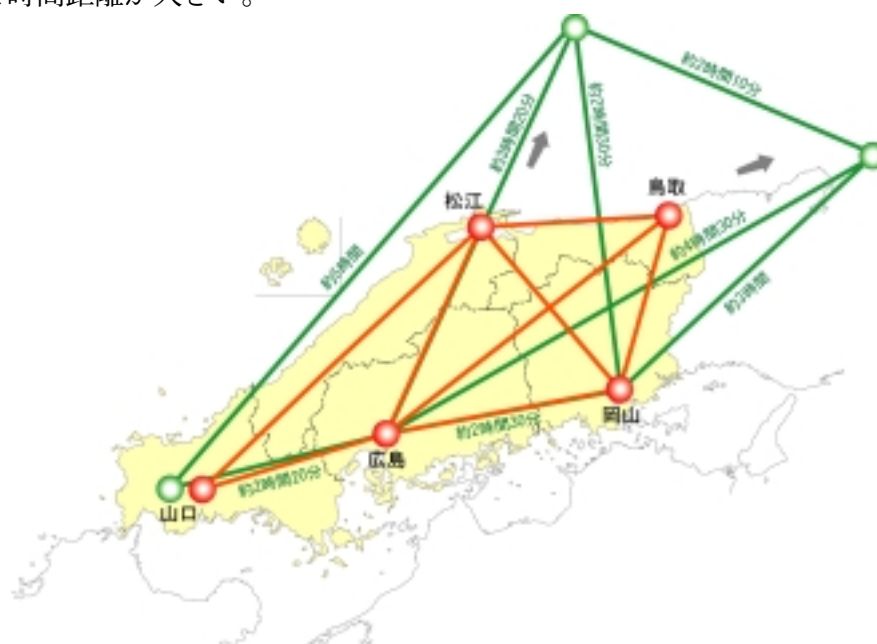
出典:平成11年OD調査ベース

中国地方県間自動車 OD 流動図



出典:平成11年度道路交通センサス(OD集計)

主要都市間の実距離と時間距離を比べると、山陽と山陰の都市間、山陰の都市間では、実距離に対して時間距離が大きい。



主要都市間の実距離と時間距離の比較

高速道路インターチェンジに30分以内で到着できる圏域は、高速道路の整備とともに増加しているものの、山陽側に比べ山陰側で遅れている。また、高速道路の開通により、高度医療施設へ短時間で到達できるようになる。



高速道路ICまでの30分圏

出典：所要時間は平成11年度道路交通センサスより算出
(道路供用状況は、H16.3現在。カバー圏は、H14年度末時点の道路網による。)